

「下京区基本計画」出前トークを実施

今年の4月から下京区の新たなまちづくりの指針・「下京区基本計画」がスタートします。

この計画は、区民の皆様と一緒に作りあげてきた「まちづくり計画」で、これから10年間、行政と区民の皆様が一体となって取り組んでいくものです。そこで、多くの区民の方々に基本計画について知っていただくため、ご希望いただいた方には職員が出向いて説明をさせていただきます。

期間 3月7日(月)～(土)・祝日を除く

申込み 2月28日(月)までは先着順で(住所・氏名・電話番号・希望日時及び希望場所(場所は無指定))を郵送(〒604-7164) 総務課(☎371-7164)



ふるって
お申込み
ください!

下京区のマスコット
シモンちゃん

下京区政治文化セミナー

下京区
明るい選挙推進協
議会で、毎年、下京区地域女性連合会との共催で、私たちの身近な事柄をテーマに、「政治・文化セミナー」を開催しています。

今回は、「環境」をテーマに下京区在住の方々の参加をお待ちしています。

日時 3月2日(水) 午後1時30分～3時

場所 下京区役所4階会議室

内容 よきものを長く使う・アンティーク着飾と長屋の話

講師 通崎睦美氏(マリンバ奏者)

定員 150人(先着順)

主催 下京区明るい選挙推進協議会、下京区地域女性連合会、下京区選挙管理委員会

☎ 下京区選挙管理委員会 ☎371-7664



通崎睦美さん

農業委員会委員選挙人名簿の縦覧

1月1日現在で調製した京都市農業委員会委員(第2区選挙区)の選挙人名簿を縦覧することができます。

期間 2月23日(水)～3月9日(水)
午前8時30分～午後5時

場所 西京区選挙管理委員会(西京区役所内)
☎ 市選挙管理委員会 ☎241-9250

2月18日

下京区地域福祉シンポジウム

無料

阪神淡路大震災以降、大規模災害が発生した場合には、避難所への避難や安否確認、避難所の設置・運営、その後の復旧活動などにおいて地域のコミュニティが大きく注目されています。しかし、少子化・核家族化に伴う人口構造の変化、地縁的なつながりの希薄化や高齢化によるコミュニティの担い手不足や個人情報保護問題など様々な課題に直面しています。

シンポジウムでは、災害時における要援護者の個別避難計画づくりを通して「地域コミュニティの力を高めること」について考えをいえます。

日時 2月18日(金)
午後2時～4時30分

場所 ひと・まち交流館京都(河原町通五条下る東側)
3階第4・5会議室

テーマ 災害における要援護者の個別避難計画づくりに向けて

基調講演・コーディネーター 同志社大学社会学部教授 立木茂雄氏

定員 150人

申込み 不要

主催 下京区地域福祉推進委員会、京都市福祉ボランティアセンター

☎ 支援課 ☎371-7218、下京区社会福祉協議会 ☎361-1881



3月1日

福祉講演会

無料

少子化や核家族化の進行により、家族のあり方に対する住民意識が変化し、人とのつながりが薄れ、子育て家庭の育児不安や孤立化などが大きな課題となっています。

こうした中で、地域社会全体がいち早く課題のある親子に気づき、専門職や支援機関につなぐべくこの重要性を考える講演会です。

日時 3月1日(火)
午後1時30分～3時30分

場所 キャンパスプラザ京都(西洞院通堀小路下る)5階第1講義室

テーマ 地域で親と子を育むために「気づいて築く地域ネットワーク」

講師 津村 薫氏(女性ライフサイクル研究所)

定員 250人

申込み 不要

主催 下京区要保護児童対策地域協議会

☎ 支援課 ☎371-7218



「禁煙外来」

「今年こそは禁煙を」と思うように思われている人も多くいます。昨年10月のタバコ税の増税を機に、禁煙にチャレンジした人、しよとと思っている人は少なくありません。

禁煙が難しいのはタバコに

含まれるニコチンへの薬物依存である「身体的依存」と、禁煙習慣による「心理的依存」の2つの依存を同時に克服していなければならぬからです。タバコを止められないのは意志の弱さではなく、ニコチンの持つ強い依存性が原因なのです。このような喫煙習慣は「ニコチン依存症」と言われ、治療が必要な病気と考えられています。

最近、これまで使われてきたニコチンパッチやニコチンガムのほかに、ニコチンを含まない飲み薬を使った禁煙治療が目まぐるしく進んでいます。新しい治療薬による禁煙成功率は、以前の治療法より格段に高くなっています。一定の要件を満たせば健康保険の適用もあります。

禁煙のメリットとして健康面はもちろんのこと、金銭面でも大きく、何より周りの人に喜ばれることではないでしょうか。

今年こそ、と思われている方はぜひ禁煙を、いや「卒煙」を目指して禁煙外来のドアをたたいてみてはいかがでしょうか。

下京区医師会
和東部医師会
和東クリニック 和東 哲

子育てサロン「開智てんとうむし」いきいき活動中



下京区社会福祉協議会より地域子育て交流サロンの活動を紹介します。

気軽に集えて、親子で楽しく遊びながら交流を広げていただく場です。開智学区民生児童委員・福祉委員会が中心となって運営を始め7年目になりました。今後も、お楽しみ会や保健師さんによる育児相談、五条警察署による交通指導など、様々な企画を盛り込みながら活動していきます。お住まいの地域は関係ありません。ぜひ一度遊びに来てください。

活動日時 毎月第2金曜日
午前10時～11時30分

場所 京都市学校歴史博物館(元開智小学校)2階講堂(御幸町通仏光寺下る橋町437)

対象 0～3歳児とその保護者

費用 無料

☎ 下京区社会福祉協議会 ☎361-1881
「開智てんとうむし」伊東 ☎371-3454

謎とき！



千年の都である京都には、数多くの才能ある人々が集まり、豊かな文化が花開きました。そのなかには、江戸中期に撰津(現在の大阪)で生まれ、江戸で俳句を学び、各地を転々とした後、この下京の地に居を構えた俳人がいます。写真は、その俳人が岩上通塩



小路にある粟嶋堂宗徳寺を参拝した際に詠んだ句の石碑です。春の海 終日(ひねもす)のたり(のたかな)の句でも知られるこの俳人の名は？

①松尾芭蕉
②小林一茶
③与謝蕪村

はがきに、クイズの答え・

12月15日の解答

道場を開いた平安中期の僧は②空也でした。